

議員全員協議会會議録

令和元年10月18日

宮 古 市 議 会

令和元年10月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(10月18日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
議会事務局出席者	2
開 会	3
協議事項（1）	3
協議事項（2）	3
閉 会	5

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時 令和元年10月18日（木曜日） 3合同常任委員会終了後
場 所 議事堂 委員会室

事 件

〔協議事項〕

- (1) 令和元年台風第19号災害への対応について

出席議員（21名）

1番	白	石	雅	一	君	2番	木	村	誠	君	
3番	西	村	昭	二	君	4番	畠	山	茂	君	
5番	小	島	直	也	君	6番	鳥	居	晋	君	
7番	熊	坂	伸	子	君	8番	佐々木	清	明	君	
9番	橋	本	久	夫	君	10番	伊	藤	清	君	
11番	佐々木	重	勝	君		13番	坂	本	悦	夫	君
14番	長	門	孝	則	君	15番	竹	花	彥	君	
16番	落	合	久	三	君	17番	松	本	尚	美	君
18番	加	藤	俊	郎	君	19番	藤	原	光	昭	君
20番	田	中		尚	君	21番	工	藤	小百合		君
22番	古	館	章	秀	君						

欠席議員（1名）

12番 高 橋 秀 正 君

○
議会事務局出席者

事務局長	菊地俊二	次長	松橋かおる
主査	前川克寿	主任	佐々木健太

○

開 会

午後 0時 9分 開会

○議長（古館章秀君） 合同常任委員会大変御苦労さまでございました。お疲れのことと思いますが、ただいまから議員全員協議会を開会いたします。

ただいままでの出席は21名でございます。会議は成立しております。

皆さんにおわび申し上げます。次第によりますと説明事項1とありますが、実は、先ほどまで総務部長等が待機しておりましたが、避難所等の開設の関係で急遽そちらに対応しなければならなくなつたことから、何とか了としてもらえないかということでございましたので、災害対応が優先ということで、この説明事項の出席についての欠席は了といたしました。

つきましては昨日、議会運営委員会で、被害状況等については伊藤総務部長と川原危機管理監出席のもと、説明をいただきましたので、資料は配付しております。のちにごらんいただきたいと思います。



協議事項（1） 令和元年台風第19号災害への対応について

○議会運営委員長（橋本久夫君） それでは、昨日、議会運営委員会を開催いたしまして、今般の台風19号災害の議会対応について協議をいたしました。その内容について、皆様に御説明を申し上げたいと思います。8枚綴りの資料がございます。

協議事項1、これについて説明をさせていただきます。それではまず最初に基本姿勢ということで、私ども議会では平成28年の台風10号災害にならいまして、議会対応について協議をさせていただきました。

基本姿勢といたしまして、1番、市当局が災害対応に全力で専念し、災害対応の諸活動が円滑かつ迅速に実施できるよう必要な協力支援を行う。2、国・県関係機関等に適時・適切な要望活動を行い、市の復旧復興の取り組みを支える、この場合においては広域的な視点に立ち、関係自治体の議会と積極的に連携する。3、市に対する会派または議員の要望提言は、緊急の場合を除き議長を通して行うというようなことで、基本姿勢を協議させていただきました。

今後の対応といたしまして、まず1点目、被害調査や災害対応の検証等については各常任委員会で所轄分を行い、最終的には3合同委員会で確認をするということでございます。

2点目、各常任委員会では、次の事項決定のうえ活動を行う。(1) 今後の活動方針、(2) 調査活動のスケジュール、(3) 調査概要、(4) 調査結果の取りまとめ。ということで活動を行うということでございます。

そして3点目、3合同委員会において、各常任委員会の調査結果を踏まえ、必要な施策などを取りまとめ、議長から市長へ提言するものとする。

そして4点目、災害対応の課題抽出・検証についても併せて行うものとする、ということでございます。

これは前回の台風10号災害等の対応にならってこれを確認しながら、このような協議をさせていただいたものでございますので、委員の皆さんからの御意見をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（古館彰秀君） 説明が終わりました。この件について皆様から何かございましたら。

田中議員。

○20番（田中尚君） 議運の委員長に伺いますが、基本姿勢の三つ目であります。

ここはですね、市に対する会派または議員の要望提言は「緊急の場合を除き」ということになっているわけでありますので、ここでですね、ある程度、議員の個々の活動が認められているのかなというふうに思うんで

ですが、原則議長を通じて行うということについては、多少違和感がありますね。つまりオール議会としての議会活動ということを重視をすると、これは当たり前の申し合わせになるんですが、そういった意味で緊急の場合っていうのは、具体的にはどういうことを想定しておりますか。

○議長（古館彰秀君） 橋本当委員長。

○議会運営委員長（橋本久夫君） この場合はとりあえずオール議会で取り組むということは、そのような形でお願いしたいと思いますが、やはりその対応によってはもう本当に、直近・間近に何かもう災害が起きている、あふれているというようなときは、やはりそれなりの対応を当局に求める場合もあるかと思います。

そういう場合のことを想定しながら、本当に緊急事態のときは、やはりその限りではないと思うことで、そこは担保したつもりでございます。これは平成28年の台風10号災害の時にも、そういうふうに確認をされております。

○議長（古館彰秀君） 田中議員。

○20番（田中尚君） 問題は市の対応であります。土日だったんですが、市役所は休みかなと思う思うくらいですね、電話かけても出ないんですよ。皆さんも体験なさったと思うんですけども。聞いたらば、当直っていうのかな、日中ですから。当直の職員が2人しかいないところに、あっちこっちから電話が鳴ると、当然出れないわけですよ。これはねえ、いかがなものかなと思いました。

それで電話に出た職員に例えばその人をふやせば、市民のそういう電話のコールの待ち数を減らせるのか聞いたんですよ。その問題では今、部長のほうに上げてます。これは豪雨のあった翌日の話ですよ。本来であれば、やっぱりこういう異常な災害の事態であればですね、役所がもう拠点ですから、司令部でもありますから、それなりの体制をとるべきですし、情報はどんどん収集すべき立場になれば、いろんな電話が来る、市民を待たせないで、できるだけ出る体制をとるべきだと、そこから始まると思っておりますので、そこだけは発言させてもらいます。

○議長（古館彰秀君） 西村議員。

○3番（西村昭二君） 市に対する会派議員の要望・提言ってありますが、例えば市に被災している方からのお願い事項、いろいろ相談事があったときには、これ議長を通せということですか。日中なんか緊急要するとかではないわけですよね。例えば地域に赴いて、これどうしたらいい、あれどうしたらいいっていう、様々な要望を受けるわけです。それを今現在は、担当課に直接電話をしていろいろお話を聞いて説明しているわけですけれども。この書き方だと、全て役所があいてる時間は議長に相談しろっていうことであれば話になりません。

○議長（古館彰秀君） ただいまの西村議員の意見は、市当局もばらばらに来ると対応が大変だということを、その辺は踏まえながら、その時期々々を見てやっていかなきや、本当に緊急っていう部分を優先にしていかないと、市のほうも対応できない部分がありますので、結果として台風10号のときもそういう状況があって、行って対応すると思ったら、その職員がその部分、その時点で、対応し切れなかつたっていう事態も個々あったもんですから、やはりそういった部分は、市民の部分の対応については、きちんと手順を議会として対応していくっていう方針だけは崩してはいけないのではないかなど、このように思いますので御理解いただきたい。

そして、先ほど田中議員がお話したような案件については、それぞれの委員会で検証し、やはりそこは課題としてしっかりと今後対応してもらうということが大事かなと思ってましたので、口頭では、一応お話をはしていきたいとこのように思っていました。

佐々木議員。

○11番(佐々木重勝君) 決してくどくするつもりはないんですが、私の意見も正直、西村議員と同じなんですが、ただ筋論はこのとおりでいいと思うんだけど。例えば議長を通して議長からこうやってもらって、話を通してもらって、どのような形でスムーズにやっていただけなのか。そこだけが心配です。

[「みんな緊急なんだ」と発言する者あり。]

○議長(古館彰秀君) 西村議員。

○3番(西村昭二君) みんな緊急って、確かにそう思ってますけど、こういうふうに基本姿勢で書かれてしまうとよくないですよ。おかしいですよ松本さん。いや、これは。

○議長(古館彰秀君) 落ちついてくれば、それぞれいいと思うんですが、今々調査し、被害状況をしっかりと出さなきやなんないという市のほうの対応も目いっぱいですので、その辺は皆さんも、職員の皆さん、地域のことは皆さん誰もがその実態はわかってますので、職員の皆さんも今懸命に黙って被害状況を調査してますので、そちらに対応できない状況の中で、要望を受けても前に進まないと思いますので、そこはきちっと踏まえて、地域要望って言うんであれば地域の要望として、それぞれいくのはそれはいいと思うんですが、議会として議員としてやる場合については、そこはルールを守っていただきたいなど。これはやはりこのように必要な協力・支援を行うっていう部分をしっかりと多分この1ヵ月は大変な状況だと思いますので、そこは理解しないとだめだと思います。

○議長(古館彰秀君) 西村議員。

○3番(西村昭二君) それであれば議員の要望というのは消してもらわないと。1議員として市にお願いするっていうところ、会派と市に対する会派の要望・提言であればわかりますが、これ1議員として頼まれることも多々あるので、これ抜いてもらわないと、ちょっと、議長に全て通さなきやならないって私は理解します。

○議長(古館彰秀君) そこは、地域の要望と1議員の要望は違うと思います。どの程度把握してるかわかりませんが、その緊急っていうのはどの程度なのか。そこをもう少し、先ほど委員長がお話ししたように、緊急、今非常事態だということを理解をし、そして落ちついた段階でそれらが動けるんであればいいんですが。

今、市のほうは地域要望を対応できる状況には、ほぼ難しいのかな。今、応急復旧のほうを優先しているかなと思ってましたので、まだ多分調査もできていないところもあると思いますので、その辺は御理解いただきたいなど。点でっていう部分じゃなくて、やはり全体のことを御理解いただきたいと、このように思います。

佐々木議員。

○11番(佐々木重勝君) 副議長にお願いしたいんですが、田中委員の意見とも重複するんですが、被災各地を役所でも手分けして回って早急な対応をして、例えば通行止めであるどがす、そういうのをやってもらわなきや、がんがんこういう時に限って、一個人の議員に電話が来るんですよね。ですから応急処置は早目にやってもらうよう、ひとつそこはお願いしたいです。

○16番(落合久三君) 要望ね。当局に対する要望なんですが、土砂がすごく入ったところと、そうでもないところと、いろいろあるのはそのとおりでいいんですが、こういう事例がありました。

津軽石の藤畑。射撃場のほうから物すごい雨が振ってせきが塞がれて、もうかつてない土砂が流入したところがあります。そこの人たちからも電話が来て、私ももちろん見に行っているんですが、半端でない土砂なんですよ。その部落の町内会が、土のうだけではとても対応できないので、建設会社が持っている産業廃棄物を入れるフレコン、うん。フレコン1トン、例えば1トン袋ね、そういうものはないですかと。あれば貸してほ

しいということで行ったら、もう全然そういうものは一切ありませんというんで、けんもほろろだったと。ところが他方では、重茂は前の議員の横田さんが電話して、もうそんな土嚢袋でそんなもんでだめだと、建設屋が使う1トンフレコンを貸してくれって言って、それは危機管理課のほうが受けて、今あるものをだつと貸したんですよ。

というふうに、対応する課によってまちまちなのが、多分初動の段階だったんですね、わかるんです。職員も全て把握してるわけないっていうのもあるんですが、そういう住民の1日も早い日常生活に戻るまでの作業をやるような問題に関してはね、こっちの課の言い分とこっちの課の対応が違うっていうことがないようにね、やっているようですが、きっちと徹底してもらいたいと。

○議長（古館彰秀君）　　はい。その部分は検証として今後出していただくと、今やらなきやならないのはもう、ある意味過ぎた部分は検証でやっていただきたいと。あと、今後どうするかっていうのは、それぞれの自治会でも一生懸命今、落合議員がお話したようなことは、それぞれその状況はどこも変わらなかつたと思います。やってると思います。

ただ、それぞれが自分たちの生命財産を守るための行動はしてますので、そこはそことして今後の緊急性については、今言ったような形で、市のほうの対応もそのように遅れてますので、御同意していただきたい。

ただ、先ほど佐々木議員からお話した分については、市長のほうに申し出ます。この件については、田中議員からもお話あつたこと、これは最後には総括の中でも提言されていくはずですけども、万が一また起きた場合のことを考えると、対応をしっかりしてほしいということは申し出たいとこのように思っています。

そのほかございませんか。加藤議員。

○18番（加藤俊郎君）　　申しわけないです。性格がこのとおりだもんだがら。

今後の対応、わかります。ただ、調整結果の取りまとめ、最終がいつごろになるのかっていうことからまず決めて、それに向かって今後の活動方針が出てくると思うんですが、そのことについても議運では話しあつたと思うんですが、それに基づいて各常任委員会が動き出すっていうことなんだろうなと思うんです。

○議長（古館彰秀君）　　橋本常任委員長。

○議会運営委員長（橋本久夫君）　　はい。ただいまの御意見ですね、このスケジュール等、やはり昨日も協議が出ました。

それで調査結果の取りまとめに関しては、11月に多分これらの災害の補正が出る関係もあるっていうことを想定しまして、年内までには調査活動を終えて、結果を取りまとめる方向ではいかがかと考えております。その後に新たにまた調査結果を踏まえて、議長から市長へ提言することをまとめる段階と考えていきたいなと思いますので、とりあえず委員会では年内での活動調査と思っております。

○議長（古館彰秀君）　　加藤議員。

○18番（加藤俊郎君）　　もう1点ですが、議会報告会については話し合っていただいたと思うんですが、私ども4班は重茂になってるんだけども。議会報告会についての見直し等々の話があつたかどうか。

○議長（古館彰秀君）　　はい、橋本議員。

○議会運営委員長（橋本久夫君）　　その話もありましたが、いずれ議会報告会はやるっていう結論に達しました。

今回の災害のことも踏まえて、さまざまな御意見が当然出てくるんであろうということで、それは率直に意見を聞く会として、開催はしたいっていうことで行うことになりました。

○議長（古館彰秀君）　　鳥居議員。

○6番（鳥居晋議員） これはお願ひですけども、今度の土曜日、今夜から明日あたりにかけてまた大雨予報が出ております。そうなってくつとうとこのあいだみたいに、休日の対応になると思うんです。そん時は議長を通してというわけにはいかなくて、緊急の事態が発生する可能性があると思うんで、それぞれの担当課には対応を迅速にできるように、一言をお願いしておきたいなと思うんですけどよろしいですか。できますか。

○議長（古館彰秀君） はい。その件についてはきょう、ちょっと静かにしてください、その件も含めて市長のほうにきょう申し入れます。市長がいなければ副市長に対応していただいて申し上げますので、御了解のほどお願いしたいと思います。

加藤議員。

○18番（加藤俊郎君） さっきの議会報告会の件だとも、多分ね、各報告会の会場に行くと、一番の話題になるのは、今度の対応なんですね。そうなったときに、調査概要がある程度、資料としてあったほうがいいのかなと思ってるんですが。そうすると調査結果の取りまとめ、年内っていうふうになってます。

調査概要がどういうふうになっているのかっていうことも、その点についても十分いろんなことを考慮に入れながら進めていただきたいなと思いますので、よろしくお願ひします。

○議長（古館彰秀君） 橋本議会運営委員長。

○議会運営委員長（橋本久夫君） その内容については、各委員会で、その辺も検討していただきたいと思うんです。議会報告会は、議会報告会で受けますので。議運でこの項目を出せっていうことですか。そうじゃなく
〔何事か叫ぶ者あり〕

○議会運営委員長（橋本久夫君） すいません。了解しました。はい。

○議長（古館彰秀君） ほかにございませんか。

〔「なし」と叫ぶ者あり〕

○議長（古館彰秀君） 以上をもちまして議員全員協議会を終了したいと思います。大変御苦労さまでした。

午後0時30分 閉会

○
宮古市議会議長 古館 章秀